

協議事項（2）交通計画の策定について

1	サービス水準の整理については、データ更新が必要。	P10～16	公共交通の現状整理の部分は、最新のデータに更新する。
2	タクシーのサービス水準について、みよし市、刈谷市のタクシーは豊明市と同様の交通圏ではないので、ここに記載する必要があるのか。	P16	近隣市町の数字は参考として記載している。表の記載は交通圏域内外で、分けて整理する。注釈は分かりやすいように修正する。
3	サービス確保の考え方について、「現行のサービス水準を維持」は事業者にとって厳しいため、「需要に応じたサービスの提供継続」にしてもらえると良い。	P55	左記のとおり修正する。
4	基本方針2の目標指標4はこれでいいか。市民のお出かけ促進につながるものとしてチョイソコのイベントだけでいいのか。	P56	指標3は総合計画のアンケートで毎年調査しており、基本方針2の全体的な評価はできており、加えて指標4はチョイソコを特出しして指標としている。
5	自力では難しいが、車いす利用や介助者の付き添いがあれば利用できるといった方に対する記載が何かあるか。	P59	実施事業のなかで、安全・安心な利用に向けた乗務員教育と、乗継拠点にバリアフリー化を進めることを追加しました。
6	地域主体組織の取組みについて、行政は受け身だが、市としてどう支援するか考えるべきでないか。	P62	既に立ち上がっている先進地区の事例もあるため、そうした地域支援の仕組みを地域に周知・PRしていきます。
7	交通と福祉の連携について、交通部局は「既存の」公共交通になっているが、「既存の」は不要ではないか。新たなモビリティサービスは適応外に見える。	P68	「既存の」は第一前提と考えており、福祉施策にも「既存の」を追加したフローに変更します。
8	アクションプログラムのスケジュールが粗い。掲載の実施事業をいつやるのかわからない。スケジュールを詳細にしてはどうか。	P69～70	現時点では実施時期が未定なものも多く、計画書に詳細に記載していくことは難しい。協議会で進行管理していく際には整理していく。
9	西暦と和暦が混在しているので、統一する必要がある。	—	「西暦（和暦）」の形式に統一する。